

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成28年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	針広混交林整備 【 抜き切り 】				
整備箇所	最上郡大字東法田 地内			事業主体	山形県
整備面積	1.6ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	41年生
整備内容	<p>当該箇所は、広葉樹林に隣接する針葉樹林で、長年、手入れが行われなかったほか、雪害による幹折れ木や倒木が多いなど、荒廃が進んでいる状態であった。</p> <p>このため、広葉樹と混ざり合った針広混交林を目標に、雪害木等を伐採し、広葉樹が成長できる空間を確保することで、森林の公益的機能の維持増進を図った。</p>				



整備前



整備後

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	舟形町長沢 地内			事業主体	山形県
整備面積	4.0ha	樹種	スギ	林齢	32~50年生
整備内容	<p>当該箇所は、スギの植栽後に手入れが行われなかったため、立木が混み合い、不良木や枯損木が目立つ状態であった。一方、周辺のスギは生育が良いことなどから、将来も人工林として維持していくことが可能な森林であった。</p> <p>このため、不良木等の伐採と間伐を行い、本事業による森林の整備後は森林組合が長期的に管理し、森林の公益的機能の維持増進を図った。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成28年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	金山町大字中田ほか 地内			事業主体	山形県
整備面積	30.0ha	樹種	スギ	林齢	27～57年生
整備内容	<p>当該箇所は、スギの植栽後に手入れが行われなかったため、立木が細長く間隔も狭い状態であった。また、一部に幹折れ木はあるものの生育は良好で、道路からも近いことなどから、人工林として維持していくことが可能な森林であった。</p> <p>このため、適正密度となるよう間伐を行い、今後は森林組合が長期的に管理を行うことで、森林の公益的機能の維持増進を図る。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【共存林整備・森林景観整備（除伐・枝打ち・つる切り）】				
整備箇所	大蔵村大字南山ほか 地内			事業主体	大蔵村
整備面積	4.5ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	40～70年生
整備内容	<p>当該箇所は、住宅や畑等に隣接する里山であり、下草や灌木が繁茂し見通しがきかない状態であった。また、数年前からクマが度々出没し、野生動物による生活への影響が危惧されていた。</p> <p>このため、奥行き約20m・延長約400mの区域において下草の刈り払いと不良木の伐採を行うことで、森林の見通しの改善を図り、野生動物との緩衝区域を明確にした。</p>				



整備前



整備後